

# 2024年6月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
(証券コード：5698)

2024年5月15日

# 目次

## 1. 第3四半期 決算概要

---

## 2. 2024年6月期 見通し

## 3. 参考資料

## 連結業績

出荷量	477千t	前年同期比 5.5%増
売上高	38,764百万円	前年同期比 9.6%増
営業利益	1,039百万円	前年同期比 15.4%減
経常利益	1,334百万円	前年同期比 11.6%減
四半期純利益*	976百万円	前年同期比 4.0%減

### 【当社グループを取り巻く環境】

- 鉄スクラップの期中平均価格（東京製鐵田原海上特級価格）は**50,881**円/ t（前年同期48,990円/ t）
- 国内の粗鋼生産量は堅調に推移。コバルト、ニッケル、及びリチウム等の相場は前年同期を下回ったが、銅の平均価格は前年同期を上回って推移。

### 【TOPICS】

- Miracle Eternal PTE LTD.と三井物産株式会社との**合併会社**である株式会社J-Cycle設立（LIB\*リサイクル事業：2024年5月設立）
- **LIBリサイクル茨城工場**稼働に向け進捗（2024年6月稼働予定）
- **金属資源循環**会社3社の統合、**ポリマー資源循環**会社2社の統合（解体資源循環事業：2024年7月予定）
- **解体新会社設立**（資源循環事業：2024年9～10月稼働予定）

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

\*LIB：リチウムイオン電池

# 決算概要▶第3四半期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2023年6月期 第3四半期累計		2024年6月期 第3四半期累計	
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
出荷量（千 t）	452	<b>477</b>	24	5.5%
売上高	35,363	<b>38,764</b>	3,400	9.6%
売上総利益	6,330	<b>6,246</b>	▲83	▲1.3%
営業利益	1,228	<b>1,039</b>	▲189	▲15.4%
経常利益	1,509	<b>1,334</b>	▲175	▲11.6%
税金等調整前四半期純利益	1,470	<b>1,346</b>	▲124	▲8.5%
四半期純利益*	1,017	<b>976</b>	▲40	▲4.0%
限界利益*	6,228	<b>7,378</b>	1,149	18.5%
EBITDA*	1,855	<b>1,986</b>	130	7.0%
純粹固定費*	5,093	<b>6,363</b>	1,270	24.9%

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

\*限界利益＝売上高－変動費

\*EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却

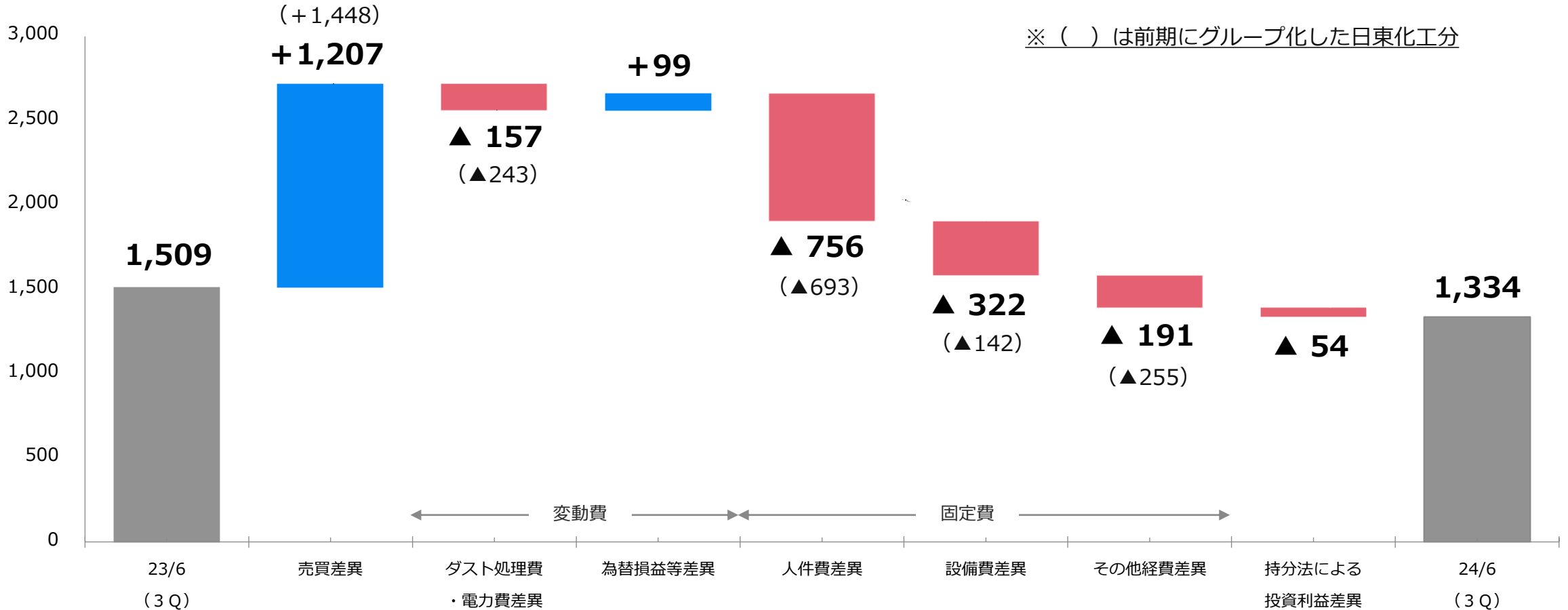
\*純粹固定費＝【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】－【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 決算概要▶連結経常利益差異分析（前年同期比）



- **売買差異** : 日東化工のグループ化による増加
- **為替損益等差異** : 前年同期に発生した為替差損の影響
- **人件費差異** : 人員増加、定期昇給及び10,000円以上のベースアップ
- **設備費差異** : 新工場、新規設備投資（富士市の選別工場、松本市の粗破碎設備等）

(単位：百万円)



# 決算概要▶セグメント別業績概要

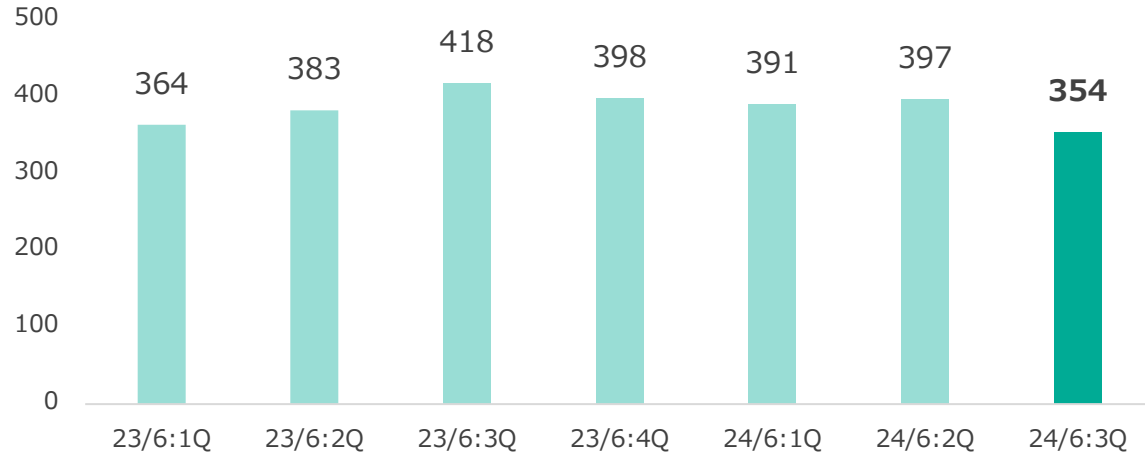


(単位：百万円)

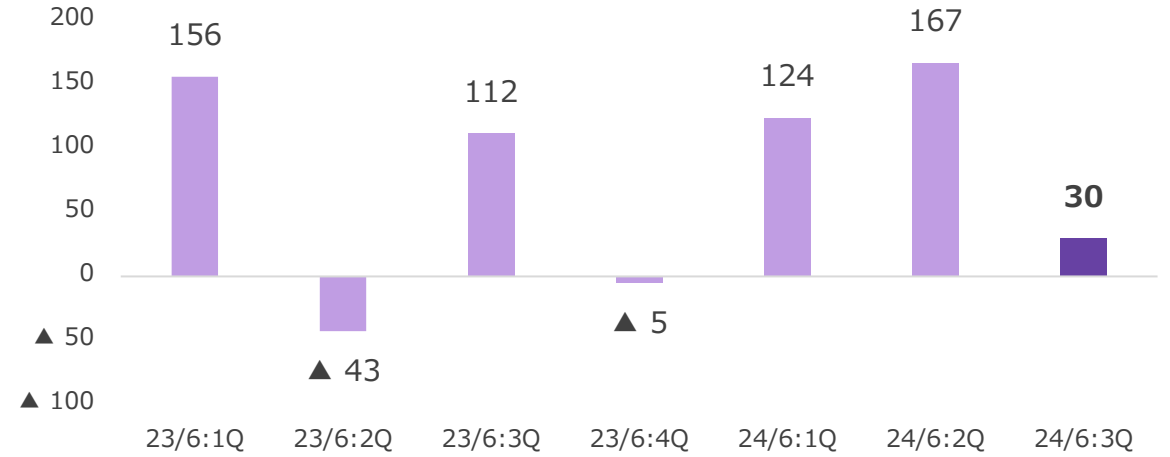
		2023年6月期 第3四半期累計	2024年6月期 第3四半期累計		TOPICS	
		実績	実績	前年同期比		
				増減額		増減率
資源循環事業	出荷量 (千 t)	192	<b>182</b>	▲10	▲5.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金属スクラップの入荷量は減少</li> <li>■ 焼却灰等の利益商材を選別する体制整備が進捗</li> <li>■ ポリマー製品製造を行う日東化工のグループ化が収益に貢献</li> </ul>
	売上高	13,226	<b>15,653</b>	2,427	18.4%	
	セグメント利益	1,166	<b>1,144</b>	▲22	▲1.9%	
グローバル トレーディング事業	出荷量 (千 t)	328	<b>358</b>	30	9.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内販売の強化、機動的な営業活動により出荷量は増加</li> <li>■ 為替の影響により利益は前年同期比で増加</li> <li>■ 物流代行サービスでは好調な出荷及びコスト削減が利益に貢献</li> </ul>
	売上高	24,876	<b>25,888</b>	1,011	4.1%	
	セグメント利益	225	<b>323</b>	97	43.4%	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	1,301	<b>1,195</b>	▲105	▲8.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池材料の需要は軟調だが、積極的な営業により取扱量が増加</li> <li>■ コバルト、ニッケル、リチウムの相場は低迷</li> <li>■ 茨城工場稼働に向け進捗 (2024年6月稼働予定)</li> </ul>
	セグメント利益	496	<b>170</b>	▲325	▲65.5%	
その他	売上高	353	<b>387</b>	34	9.6%	«環境経営コンサルティング事業» ■ T N F D対応支援、サーキュラーエコノミー関連コンサルティング、CO <sub>2</sub> 算定システムの開発等の新規取組を進め、カーボンニュートラル関連コンサルティングも収益に貢献
	セグメント利益	94	<b>107</b>	12	13.1%	«障がい福祉サービス事業» ■ 就労継続支援B型を中心に新規利用者数及び延べ利用者数が増加

(単位：百万円)

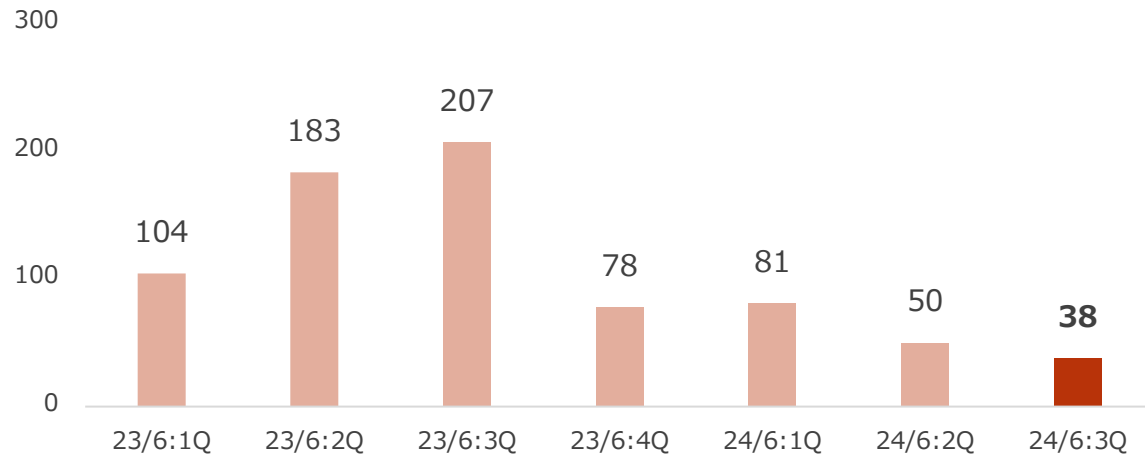
## 資源循環事業



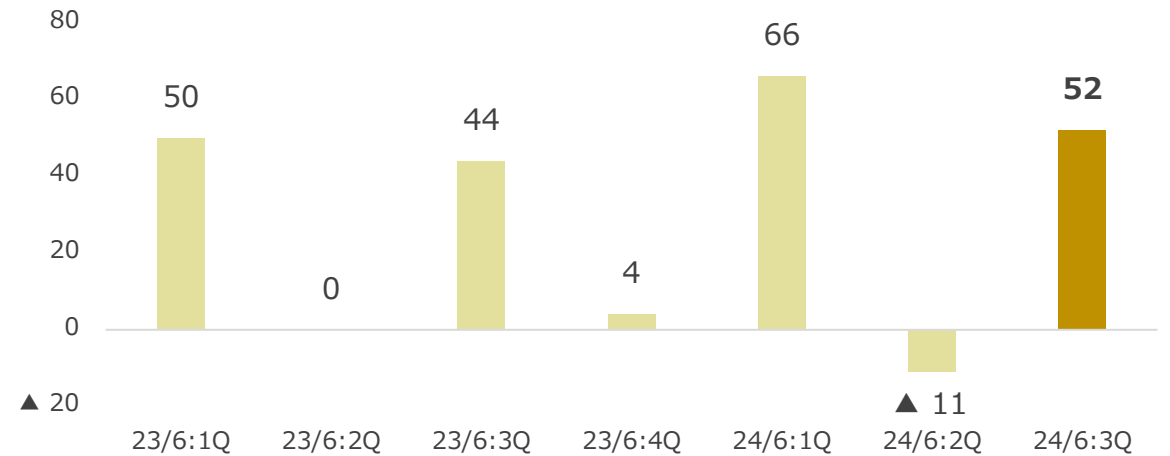
## グローバルトレーディング事業



## リチウムイオン電池リサイクル事業



## その他



(単位：百万円)

	2023年 6月末	2024年 3月末	増減額	TOPICS
流動資産	19,088	<b>17,635</b>	▲ 1,453	商品及び製品623百万円、受取手形及び売掛金402百万円 その他流動資産▲1,446百万円、現金及び預金▲1,057百万円
固定資産	14,598	<b>15,270</b>	671	
（有形固定資産）	10,844	<b>11,139</b>	294	機械装置及び運搬具471百万円
（無形固定資産）	148	<b>183</b>	34	
（投資その他の資産）	3,605	<b>3,947</b>	342	
<b>資産合計</b>	<b>33,686</b>	<b>32,905</b>	<b>▲ 781</b>	
流動負債	10,415	<b>9,549</b>	▲ 865	賞与引当金188百万円、その他流動負債▲625百万円、短期借入金▲560百万円
固定負債	6,446	<b>5,898</b>	▲ 547	長期借入金▲467百万円
<b>負債合計</b>	<b>16,861</b>	<b>15,448</b>	<b>▲ 1,413</b>	
純資産	16,825	<b>17,457</b>	632	利益剰余金560百万円、自己株式の処分131百万円、非支配株主持分▲112百万円
（自己資本）	16,386	<b>17,138</b>	752	自己資本比率 52.1%（2023年6月末 48.6%）
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,686</b>	<b>32,905</b>	<b>▲ 781</b>	



# 目次

1. 第3四半期 決算概要

**2. 2024年6月期 見通し**

---

3. 参考資料

## 連結業績予想 (2/9修正予想)

売上高

**54,000**百万円

前期比

**9.8%増**

営業利益

**1,330**百万円

前期比

**13.8%減**

経常利益

**1,700**百万円

前期比

**10.6%減**

当期純利益\*

**1,210**百万円

前期比

**2.1%減**

## TOPICS

- ・中国不動産市況の低迷の長期化、不安定な世界情勢、世界的なインフレ長期化に伴う景気後退の懸念等、先行き不透明な状況が継続
- ・資源循環事業では国内集荷競争の激化により利幅が減少
- ・LIBリサイクル事業では電池材料の需給緩和により下期は利幅が減少
- ・グローバルトレーディング事業では金属スクラップの国内高、海外安の影響等により輸出環境の悪化

### 業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
50,000円/t	1,200円/kg	9,000円/g	100,000円/kg	2,150円/kg	4,000円/kg	140円/USD

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

# 見通し▶2024年6月期 連結業績



(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期				
	実績	修正予想(2/9)	前期比		第3四半期累計	
			増減額	増減率	実績	進捗率
出荷量(千t)	625	<b>693</b>	67	10.8%	<b>477</b>	68.8%
売上高	49,189	<b>54,000</b>	4,810	9.8%	<b>38,764</b>	71.8%
売上総利益	8,499	-	-	-	<b>6,246</b>	-
営業利益	1,542	<b>1,330</b>	▲212	▲13.8%	<b>1,039</b>	78.2%
経常利益	1,901	<b>1,700</b>	▲201	▲10.6%	<b>1,334</b>	78.5%
税金等調整前当期純利益	1,759	-	-	-	<b>1,346</b>	-
当期純利益*	1,236	<b>1,210</b>	▲26	▲2.1%	<b>976</b>	80.7%
限界利益*	8,744	-	-	-	<b>7,378</b>	-
EBITDA*	2,475	-	-	-	<b>1,986</b>	-
純粋固定費*	7,364	-	-	-	<b>6,363</b>	-
ROE	7.7%	-	-	-	-	-

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

\*限界利益 = 売上高 - 変動費

\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

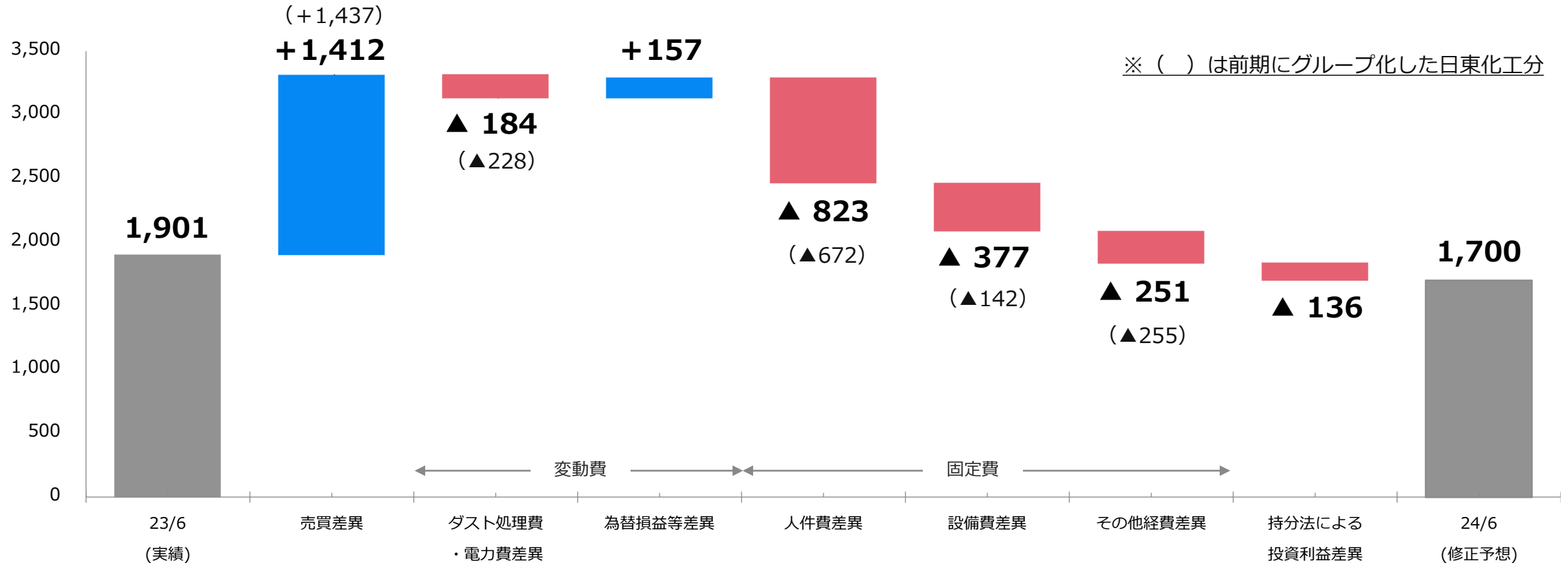
\*純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 見通し▶連結経常利益差異分析（前期比）



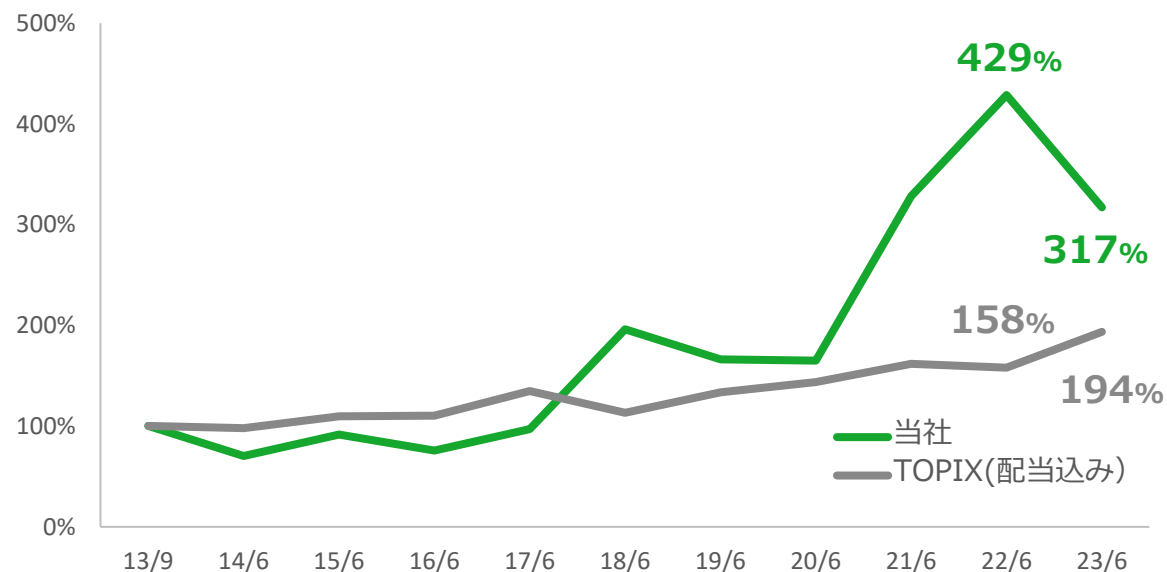
- **売買差異** : 日東化工のグループ化による増加
- **人件費差異** : 人的資本投資（事業推進人材の採用・育成、定期昇給・ベースアップ）
- **設備費差異** : 新工場、新規設備の稼働（金銀滓回収機能、LIBリサイクル機能等）

（単位：百万円）



## 上場以降のTSR推移（株主総利回り）

- 10年で見ると、**TOPIXのパフォーマンスを上回って**推移



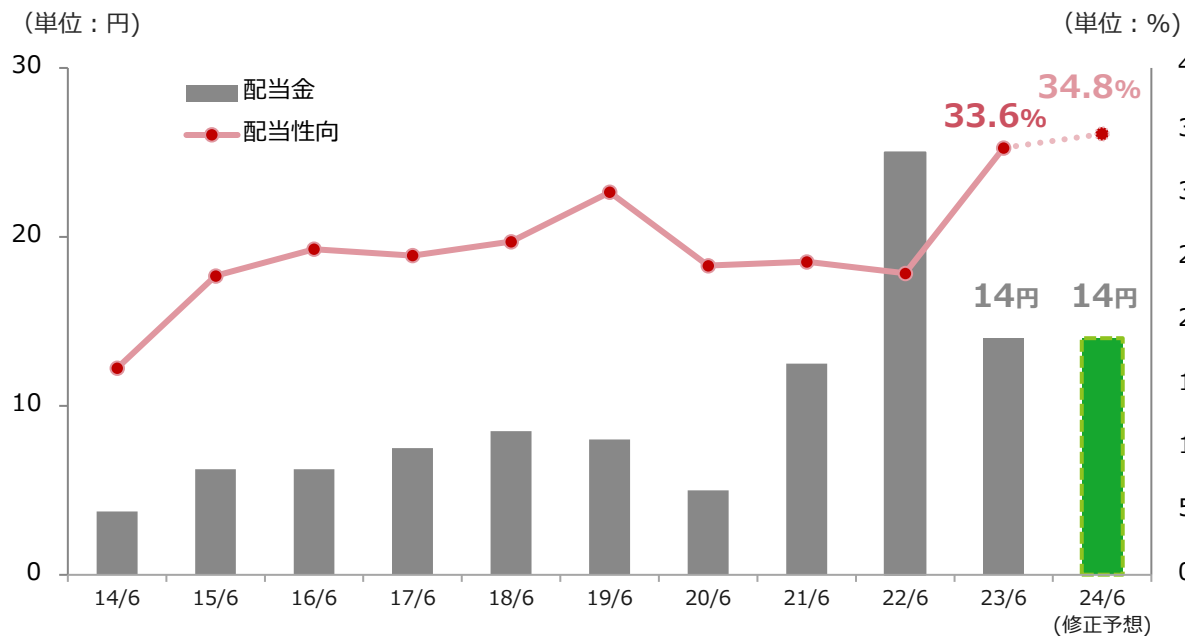
\*2013年9月25日終値を100とする

(単位：円)

	2013年 9/25終値	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6 (予想)
株価(6月末)	204	140	178	139	174	369	300	292	614	794	552	-
1株配当金	-	3.75	6.25	6.25	7.5	8.5	8	5	12.5	25	14	14
配当性向	-	16.3%	23.6%	25.7%	25.2%	26.3%	30.2%	24.4%	24.7%	23.8%	33.6%	34.8%

## 当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 **25~35%**を目標とする。



\*2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
1株当たり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定。

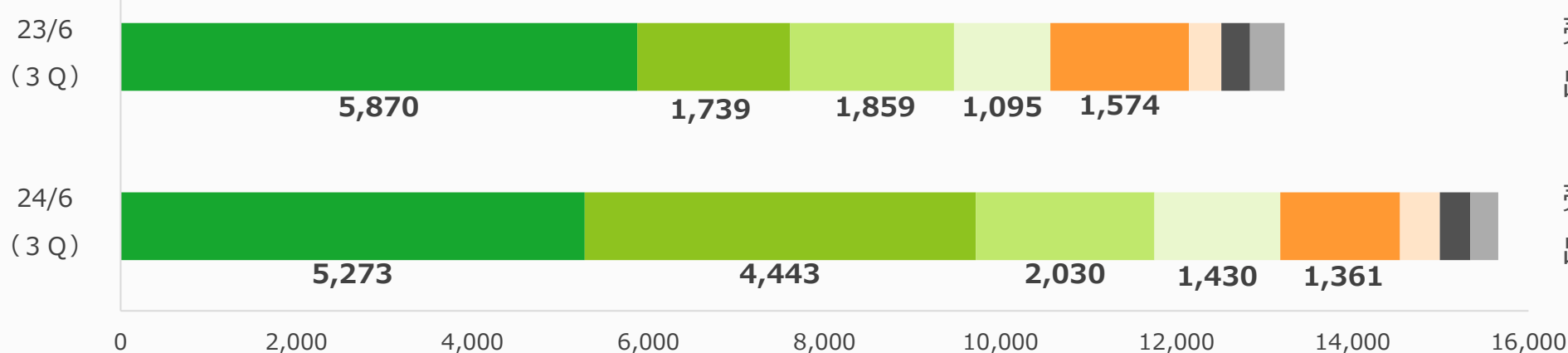
# 目次

1. 第3四半期 決算概要
  2. 2024年6月期 見通し
  - 3. 参考資料**
-

(単位：百万円)

資源循環事業

■ 鉄 ■ ポリマー製品 ■ 非鉄金属 ■ 金銀滓 ■ 逆有償 ■ 解体・片付け等 ■ RPF,製紙原料等 ■ その他

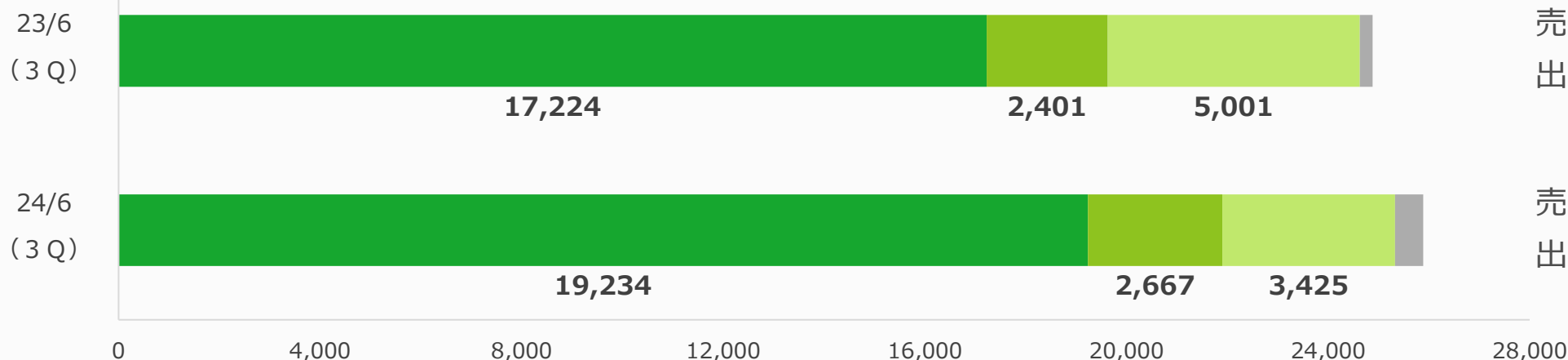


売上高 13,226百万円  
出荷量 192千 t

売上高 15,653百万円  
出荷量 182千 t

グローバルトレーディング事業

■ 鉄 ■ 非鉄金属 ■ 中古自動車 ■ その他



売上高 24,876百万円  
出荷量 328千 t

売上高 25,888百万円  
出荷量 358千 t

**品種別出荷量**

(単位：千 t)

品目	2023年6月期 第3四半期	2024年6月期 第3四半期	前年同期比
鉄	366	382	4.5%
非鉄金属	14	14	▲0.5%
金銀滓*	2.3	3.1	34.3%
ポリマー製品	11	22	105.0%
RPF等燃料、製紙原料等	40	40	▲0.7%
ブラックマス等*	0.7	0.9	25.7%
その他	17	13	▲23.8%
合計	452	477	5.5%

(単位：k g)

品目	2023年6月期 第3四半期	2024年6月期 第3四半期	前年同期比
金回収量	33	58	72.3%
銀回収量	621	924	48.7%

**地域別売上高**

(単位：百万円)

地域	2023年6月期 第3四半期	2024年6月期 第3四半期	前年同期比	
東アジア	日本	18,765	22,954	22.3%
	韓国	6,667	6,695	0.4%
	台湾	677	860	27.0%
	その他	922	1,135	23.0%
東南アジア	インドネシア	504	1,670	231.0%
	ベトナム	4,795	3,565	▲25.7%
	その他	1,023	600	▲41.3%
南アジア	インド他	326	130	▲60.1%
西アジア	UAE他	668	152	▲77.1%
南米	チリ他	706	803	13.7%
アフリカ	ケニア他	83	10	▲87.0%
その他	-	222	183	▲17.3%
合計	35,363	38,764	9.6%	

\*金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

\*ブラックマス：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓



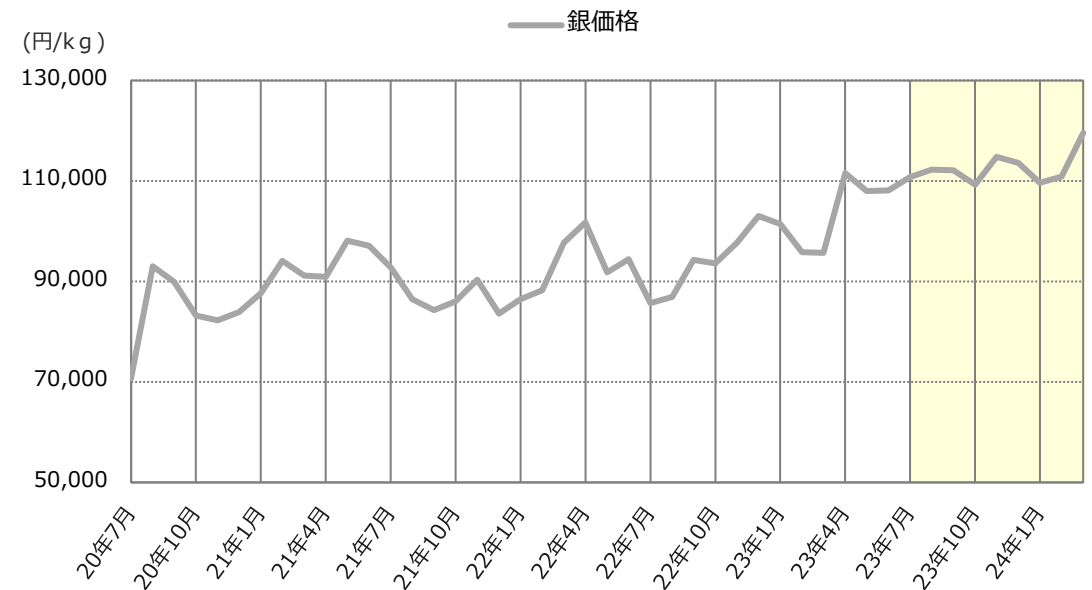
# 参考資料▶セグメント別四半期業績推移



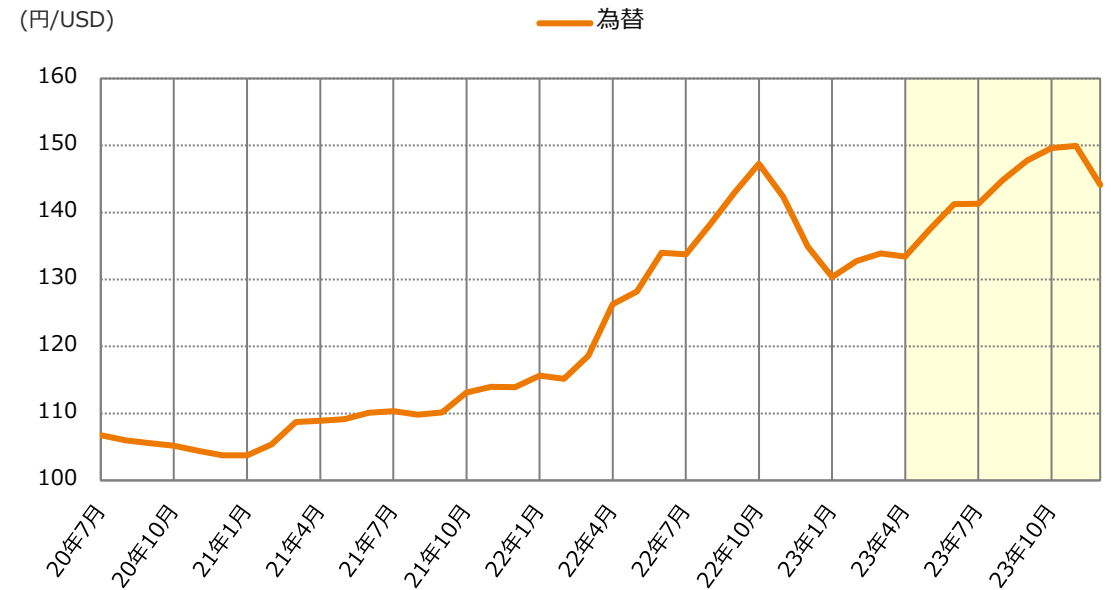
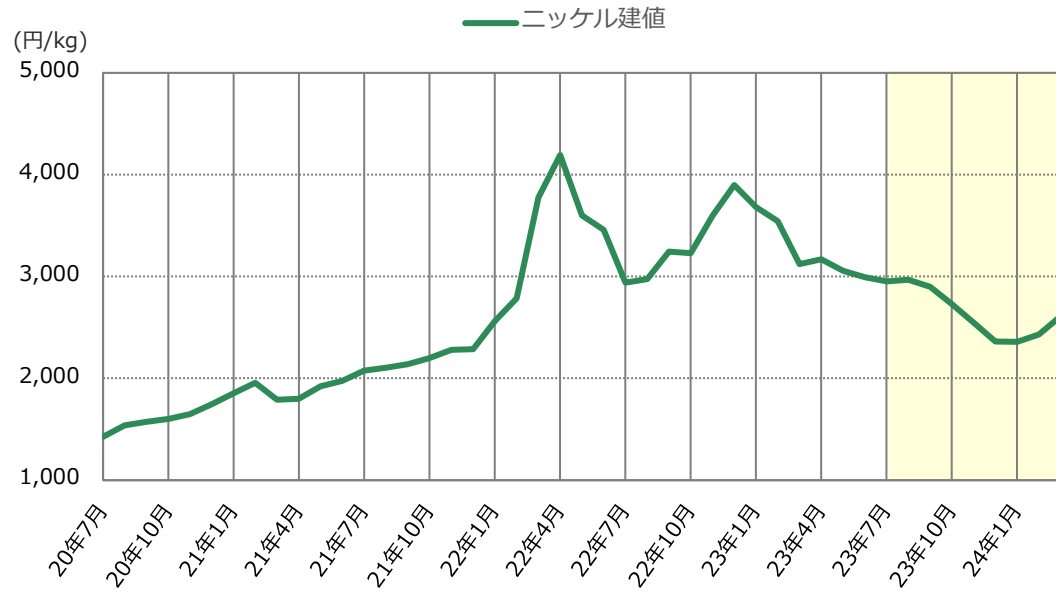
(単位：百万円)

セグメント	2023年6月期						2024年6月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	1Q	2Q	3Q	3Q累計	構成比	
資源循環事業	出荷量(千t)	64	65	64	67	262	–	57	64	61	<b>182</b>	–
	売上高	4,179	4,349	4,697	5,625	18,852	34.0%	4,916	5,367	5,370	<b>15,653</b>	36.3%
	経常利益	364	383	418	398	1,565	63.6%	391	397	354	<b>1,144</b>	65.5%
	経常利益率	8.7%	8.8%	8.9%	7.1%	8.3%	–	8.0%	7.4%	6.6%	<b>7.3%</b>	–
グローバル トレーディング事業	出荷量(千t)	99	117	111	136	465	–	121	125	111	<b>358</b>	–
	売上高	7,872	8,958	8,045	9,608	34,485	62.2%	8,709	8,735	8,443	<b>25,888</b>	60.0%
	経常利益	156	▲43	112	▲5	220	9.0%	124	167	30	<b>323</b>	18.5%
	経常利益率	2.0%	–	1.4%	–	0.6%	–	1.4%	1.9%	0.4%	<b>1.2%</b>	–
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	326	448	525	334	1,635	3.0%	356	361	477	<b>1,195</b>	2.8%
	経常利益	104	183	207	78	575	23.4%	81	50	38	<b>170</b>	9.8%
	経常利益率	32.0%	41.0%	39.5%	23.6%	35.2%	–	22.8%	14.0%	8.1%	<b>14.3%</b>	–
その他	売上高	135	87	131	109	463	0.8%	157	85	145	<b>387</b>	0.9%
	経常利益	50	▲0	44	4	99	4.0%	66	▲11	52	<b>107</b>	6.1%
	経常利益率	37.7%	–	33.6%	4.3%	21.5%	–	42.4%	–	36.2%	<b>27.6%</b>	–
調整額	売上高	▲1,340	▲1,435	▲1,619	▲1,851	▲6,247	–	▲1,326	▲1,573	▲1,461	<b>▲4,362</b>	–
	経常利益	▲107	▲77	▲287	▲85	▲558	–	▲140	▲123	▲147	<b>▲411</b>	–
連結	出荷量(千t)	141	160	150	173	625	–	159	165	153	<b>477</b>	–
	売上高	11,174	12,408	11,781	13,826	49,189	100.0%	12,812	12,976	12,974	<b>38,764</b>	100.0%
	経常利益	569	445	494	392	1,901	100.0%	523	481	329	<b>1,334</b>	100.0%
	経常利益率	5.1%	3.6%	4.2%	2.8%	3.9%	–	4.1%	3.7%	2.5%	<b>3.4%</b>	–

\*セグメント利益は経常利益で記載をしております。



(出所) 東京製鐵(株)、J X 金属(株)、IRuniverse(株)



(出所) IRuniverse(株)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

## 本資料に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



---

本資料及びIRに関するお問い合わせ先

---

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
経営管理部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>